

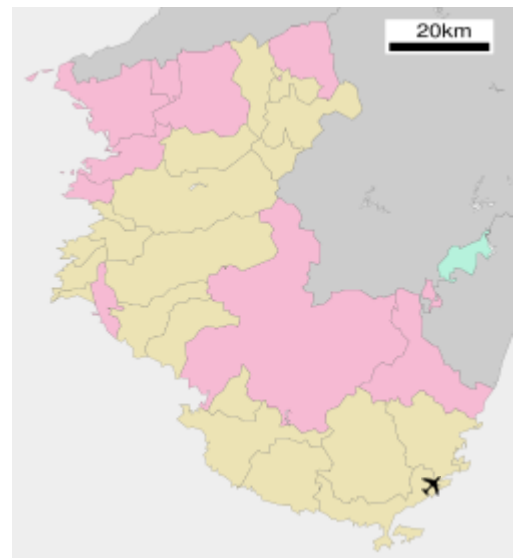
## カイロスロケット 2号機のお話<sup>はなし</sup>

前回のつぶやきがUP<sup>アップ</sup>されたころには、ふたご座の流星群<sup>りゅうせいぐん</sup>はピークをすぎちゃってしまいましたね。ごめんなさい。ニュースなどで自分で気が付いて空を見上げた人もいたかもしれませんが、そうでない人は来年を楽しみにして下<sup>くだ</sup>さい。

商店街<sup>しょうてんがい</sup>ではクリスマスソングが流<sup>なが</sup>れていますね。「もういくつねると……」なんて歌も聞こえてきます。2024年もあと少しですね。「クリスマスプレゼントにはあれが欲しい」「お年玉<sup>ねんたま</sup>をもらったらあれを買おう」なんて考<sup>かんが</sup>えている人もいるんじゃないでしょうか。このつぶやきも、今年<sup>ことし</sup>の更新<sup>こうしん</sup>は今回<sup>こんかい</sup>で最後<sup>さいご</sup>になります。

さて、今回は12/18に打ち上げられた日本の民間ロケット、カイロスロケットの2号機<sup>ごうき</sup>についてです。

カイロスロケットは日本の民間企業<sup>みんかんきぎょう</sup>、株式会社スペースワン<sup>かぶしきがいしゃ</sup>が開発し、和歌山県の串本町<sup>くしもとちょう</sup>に作られた、スペースポート紀伊<sup>きい</sup>から打ち上げられるロケットです。

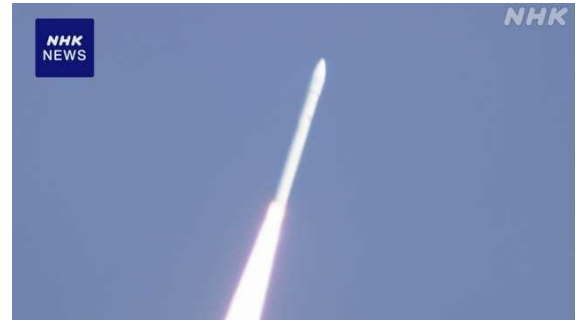


スペースポート紀伊の位置

(図は Wikipedia より)

1号機は今年の3/13に打ち上げられましたが、発射5秒後に飛行中断（破壊指令による自爆）となりました。今回の2号機の打ち上げでは、発射は成功したものの、第1段エンジンの燃焼中（発射から約80秒後）にノズル（噴射の向きを制御する部分）の向きに異常が発生しました。

その後、第1段エンジンの分離、第2段エンジンの点火、衛星を守るカバーであるフェアリングの分離までは行えたものの、予定の経路から大きくはずれたために、発射から約3分後に飛行中断となりました。



飛行中のカイロスロケット

(NHK ニュースの画像)

くわしい原因調査はこれからですが、スペースワンの社長は、なるべく早い3号機の打ち上げを目指す、とのこと。残念ながら人工衛星の軌道投入には2回連続で失敗した形になりますが、新たなデータは取得できているので、3度目の正直に期待したいところですね。

ちなみに、今回の打ち上げには、東京の私立である**広尾学園中学・高校**の生徒が開発に関わった小型衛星も積まれていました。中高生や大学生も宇宙開発に参加できる時代がすぐそこまで来ているということですね。みなさんも、興味があればその道を目指してみてはいかがでしょうか。

24/12/20 (優れたアイデアは十分な知識から) あん Do

参考：

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%AD%E3%82%B9\\_\(%E3%83%AD%E3%82%B1%E3%83%83%E3%83%88\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%AD%E3%82%B9_(%E3%83%AD%E3%82%B1%E3%83%83%E3%83%88))

(Wikipedia のカイトスロケットのページ)



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%AF%E3%83%B3>

(Wikipedia のスペースワン株式会社のページ)



<https://www.ihico.jp/ia/>

(カイトスロケットやイプシロンロケットなどの固体ロケットエンジンを作っている株式会社 IHI エアロスペースの HP)

